



苦痛のない安全な超音波検査を学ぶ



保健学科検査技術科学専攻

当専攻3年次の授業に超音波検査実習がある。実習室では、この日も学生たちが、腹部から映し出されたリアルタイムの動きをモニターで観察しながら、先生の指導を受けていた。

学生の表情は、真剣そのもの。驚いたり関心したりする場面も見られ、リラックスした雰囲気の中にも時には厳しい実習の様子が伺えた。

超音波検査って？

超音波は、耳には聞こえない高い周波数の音波で、一定方向に強く放射され直進性が高いという性質がある。これを利用して腹部、心臓、乳腺、血管などに超音波を発信し、そこから返ってくるエコー（反射波）を受信し、コンピュータ処理で画像化して診断するのが超音波検査（エコー）だ。

超音波検査で何が分かるの？

腫瘍、ポリープ、炎症、結石などを発見することができ、腫瘍では大きさだけでなく周囲臓器への腫瘍細胞の浸潤の状態も知ることができる。この検査はX線検査のように放射線被曝の心配がなく、検査を受ける人の苦痛もなく安全だ。しかし、「視野が狭い」ことが短所で、病変を見逃さないために検者の高い知識と経験が非常に重要となる。

肺機能検査を体験

肺機能検査は、肺の病気が疑われるときや、全身麻酔が必要な手術の術前に行う検査で、肺活量などを測定する。実習ではスパイロメーターという機器を用いて、学生が患者役となり、空気が漏れないように鼻をクリップでつまみ、マウスピースをくわえて、息を吸ったり吐いたりすることで、1回の呼吸でどれくらいの空気を取り込めるか、勢いよく息を吐くことができるか等の肺の機能を調べていた。

臨床検査技師として適切に機器を扱い、適正な検査を行うことができるよう実習は続く。



大山の魅力

四季の訪れをその姿で体現してくれる大山は、冬の訪れとともに純白のベールに包まれる。その美しい景色と澄んだ空気は私達を魅了する。



12月の中旬以降からはスキー場の営業が開始される。そのため、この時季を心待ちにしている人も多い。

西日本最大規模のスキー場である「だいせんホワイトリゾート」をはじめとして、ウィンタースポーツを楽しむことができる施設が充実している。初心者から上級者、子供から大人まで、無理をせずに遊び方を選択できるのはとても魅力的だ!!

医学部での研究！

生命科学科 分子生物学分野

～日々研究に挑む～

私たちには、外から侵入する病原微生物やウイルスといった異物を排除する免疫機能が備わっている。ここで活躍するのが白血球である。白血球の中でも食細胞と呼ばれる細胞は、体内に侵入した異物を細胞内に取り込み、殺菌・分解することで私たちの体を守っている。

櫻井先生は、食細胞が異物を処理するためには何が必要か、こういった仕組みで処理するのかを発見するため、日々研究に取り組んでいる。

食細胞が動く様子を見て「かわいいですね」と微笑む櫻井先生からは、細胞の一つ一つを生命として大切に思っている優しさが感じられた。

免疫機能の詳細が解明され、将来、感染症や免疫異常に対する治療法が確立されることを期待したい。



助教 櫻井千恵（仙台市出身）

鳥取大学の魅力を最大限に体感！

～低侵襲外科セミナー～



鳥取大の強みは何か？と聞くと「地域医療」と答える学生は多い。しかし、実は全国的に見ても最先端の医療機器による高度な治療が盛んに行われていることをご存じだろうか。今、この強みを最も体感できるのが「低侵襲外科セミナー」だ。

2回目となる今回のセミナーは、9つの外科系診療科の協力のもと、医学科1～5年生を対象に42名が参加し、シミュレーターを用いたブタの臓器の切開・剥離・縫合を体験し、ダヴィンチ手技にもチャレンジした。

参加者からは「各診療科の魅力を知り勉強のモチベーションが上がった」「実際に手術で使用されている医療機器を経験豊富な先生のもとで扱えて、とても有意義な時間だった」と、セミナーの内容だけでなく指導者の人柄に魅力を感じた学生の声も多い。多くの診療科が協力し、開催できるのも鳥取大の誇る「チーム医療」だからこそ。

来年は、是非このセミナーで鳥取大の魅力を存分に体感してほしい。



医学図書館

146,000冊以上の書物が並ぶ医学図書館は、医学部生だけでなく地域住民（原則高校生を除く18歳以上）も利用できる。



開館時間	平日	土・日・祝日
授業期	8:40-23:00	9:00-17:00
試験期		9:00-23:00
休業期	8:40-17:00	休館



- 【1F】「見て・触って」人体への興味・理解を深めることができる人体・臓器模型を設置。
- 【2F】自習ルームやグループ学習室があり、心地よく勉強、読書に集中できる環境が整っている。

休館日：年末年始・月末（平日）の午前中等
※その他、臨時に休館する場合あり。
問い合わせ
TEL 0859-38-6462 / FAX 0859-38-6469
Email: ac-igakujo@ml.adm.tottori-u.ac.jp

生協食堂

～ふわふわオムライス～

12月5日から始まったクリスマスフェアの人気商品。コーンの入ったチキンライスの上に、チーズを溶かし入れたホワイトソースとふわふわの卵をトッピング！やさしいケチャップ風味に、思わず笑顔がこぼれます♪



学生にも人気！

鳥取大学医学部ホームページを

リニューアル！



これからいよいよ受験シーズン！受験生に鳥取大医学部紹介や、受験情報ならびに学生生活などを簡単に検索してもらえるよう、12月15日にホームページをリニューアルしました。スマホにも対応しています。是非ご覧ください！

鳥取大学医学部

検索

・・・編集後記・・・

学生によるクリスマスコンサート。患者さんやご家族の皆さんへの音楽プレゼントだ。医学部附属病院の外來玄関にはイルミネーションが輝き、冷たい冬を暖かく照らし新しい年を迎える。



2017年、良い年で
ありますように…

発行／鳥取大学 医学部（総務課広報係）
〒683-8503 鳥取県米子市西町86
TEL：0859-38-7037
E-Mail: me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp